



今回ご紹介するのは、1990年（平成2年）に「八幡道德教育推進会議」として発足し、28年間続いている八幡ふれあい教育活動についてです。

活動紹介

5つの地区ごとに「ふれあい」をテーマとして三世代交流を行っています。2月の八幡公民館文化祭で「八幡ふれあい教育活動交流会」の活動内容を発表しています。各地区の活動の一部を紹介します。

上八幡

おじいさん、おばあさんたちと一緒に、7月に3・4年生がバルーンアートの作成を、12月に1・2年生がしめなわ作りをしました。

1・2年生もしめなわの飾り作りで、上手にハサミを使えるところを、おじいさん達に見てもらいました。



下八幡

5年生児童11名が花餅作りに参加し、紅白のお餅を包丁で切る作業を体験し、福祉会の方々に作り方を教わりながら完成させました。昼食はカレーライスで、準備から後片付けまで、積極的にお手伝いしました。



溪北



筒の部分に、好きな折り紙を貼ったり、絵を描いたりして、それぞれ自分だけのオリジナルな万華鏡を、一生懸命作りました。

昼食は福祉会の方々が作ってくださったカレーと一緒に頂き、食事中も自然と会話がはずみ、地域家族のようなふれあいがたくさん見受けられました。



溪南

地域の方々と、流しそうめんの竹と一緒に採りに行き、切り出す準備を体験し、三世代交流のいきいきサロンで流しそうめんを楽しみました。準備の大変さを実感でき「感謝」の気持ちをもって交流に参加できました。



市橋

区会のお正月準備に参加し、門松について、色々教えてもらいながら、公民館に飾る門松を作ることができました。



編集後記

元号が5月1日より令和となるので、今回の議会だよりが平成最後の発行となります。

4月8日には、小学校の入学式があり、9日より新一年生の学校生活が始まりました。

満開の桜の下で、平成最後の桜祭りが開催され、町外からも多くの花見客が見え、町の地場産品の販売も有り、池田町の良いアピールになったと思われます。

熊本県地震の震災地の嘉島町に行政視察に行き、震災直後の状況及び復旧と復興の取り組みについて説明を受けた。池田町も毎年総合防災訓練を行っているが、自然災害対策について、毎年見直していく必要があるのではないかと考えられる。

議会広報編集委員会委員長
林 敏博